校長だより　向日葵　　１１月２日　廣渡一郎

◆◇◆学級集会◆◇◆

■今日の午後は学習参観と学級集会。
主に多久，南風台にお住いの保護者の皆さまが対象です。
ご来校いただいた皆さま，有難うございます。
今回は，私が担任時代の学級集会の思い出を紹介します。

■教職に就いて２年目のことです。
６年生を担任していた私は学級づくりに行き詰まっていました。
いじめ。なかなか登校できない子への関わり。
子どもとの関係づくり…。
毎日のように話し合いをしていましたが状況は一向に改善しない。
私の心にはなんとなく諦めの気持ちが広がっている。そんな日が続いていました。

■そんな時に，定例の学級集会がありました。
学級がうまくいってないこともあり，私は重い気持ちで集会にのぞみました。
「廣渡先生は今の状況をどうお考えですか？」
「隣のクラスに比べて宿題も少ないようですけどどうお考えですか？」
「今までの先生はもっと頻繁にお便りも出していただいてましたが？」
予定の時刻が終わりに近づいた頃，次々と声があがり始めます。
何か言わなければ，とは思うのですが頭が真っ白になった私は固まっていました。
その時です。
「先生も一生懸命がんばっておられます。私たちは先生を応援しましょう」
ある保護者がそんなふうにおっしゃられました。
私は改めて自分の力不足を恥じるとともに，今の状況に立ち向かう勇気と責任を
取り戻す力をいただいた気がしました。

■今日の学級集会では，各担任から後期に入ってからの学習と生活の子どもたちの
ようすを紹介し，これからの予定などを説明します。
３０分間という短い時間ですが，保護者の皆さまと
子どもたちの育ちを確かめ，喜び合えるよう。
これからの働きかけの手がかりを共有できる時間になるよう
学年主任を中心に担任の先生方は準備をすすめています。